

10月11日 山王町（山王町常会場にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は矢印⇒です。

- 町立小・中学校の空調について、教室は大体整備されているが、体育館は整備しないのか。茅ヶ崎市は全て、平塚市は半分くらい整備されている。
⇒ 来年度は特別教室の空調を整備します。体育館については先日、茅ヶ崎市の体育館を視察しました。来年度に空調設備の予算を計上する方向で検討しています。
- 昨年、大磯町へ移住をした。大磯町はとても魅力的な街であるが、知られていないため勿体無く感じる。子育て世代ではない層にもアピールする対策はないか。大磯町は都内へのアクセスの良さ、海に近い、大磯駅から座れて通勤ができるなど知られていない良さがある。雇用の創出、開業の補助、コワーキングスペースなど移住したいと感じた際に、一歩踏み出せる施策がほしい。
⇒ 今まで子育て世代をターゲットに人口減少対策に取り組んできましたが、とても貴重なご意見と思います。幅広い世代に魅力を感じて頂けるよう、広報の在り方など町内部で検討します。
- 観光施策ではお店が重要である。大磯町は小さいお店がたくさんできているが、知られていない。駅前に観光案内所があるため、観光協会と連携して、知っていただけるような対策が必要である。「海の近く」編集部との連携も良い。
⇒ お店のPRを大切にしてほしいというお話は他の地区からも言われていますので、観光協会と連携し、来年度は町と観光協会のHPを改変する方向で検討しています。
- 子どもに障がいがあり、ヘルプマークを使っているが、大磯町は紙である。エコという意見もあるが、紙ではない自治体がある。ヘルプマークは鞆の外側に付けるものであるため、ボロボロになって無くなってしまうこともある。ラミネートを貼るなどの対応をしてもらえないか。
⇒ 最近プラスチックに近いエコな素材で作ったものをお配りしていますので、福祉課の窓口へお申込み下さい。
- 線路沿いでパスタ屋を経営している。子どもがいない30代から50代の夫婦のお客さんで賃貸に住みながら、戸建ての家を探している方がいる一方で、50代以降のお客さんで親の土地をどうすればいいかという話をされている方が何人かいる。うまく回っていないように感じる。自治会に加入されている方や、町政報告会に参加するような方はこのような場で情報を知ることができるが、それ以外の方々に何か情報発信できる

ような対策はないか。

⇒ 自治会に加入されていない方は町広報、町ホームページ、SNSがありますが、更にプッシュ型の情報発信をしないといけないと感じています。今年空き家の全数調査をして実態をつかみました。来年度は、空き家の解体やリフォームへの支援を行う方向で検討しており、住宅の需要供給のミスマッチを解消するために力を入れていきます。また、空き家バンクなど情報発信も怠りなく進めます。

以上